

Anthropic 著作権訴訟で和解

Felo AI

AI学習と著作権訴訟の和解事例分析

Anthropic vs 作家グループ和解 (2025年8月)

- 生成AI学習と著作権を巡る米国初の大型訴訟和解事例
- 連邦地裁：合法購入書籍の学習→フェアユース / 海賊版由来集中保管→侵害可能性
- 取得経路と保管方法の違法性が巨額賠償リスクの分水嶺となることが判明

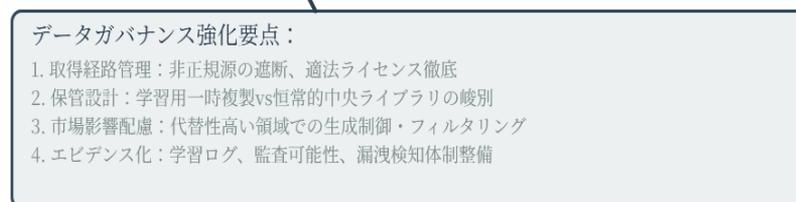
時系列での主要展開



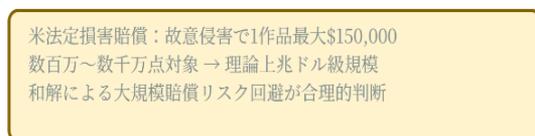
フェアユース判断の二分法



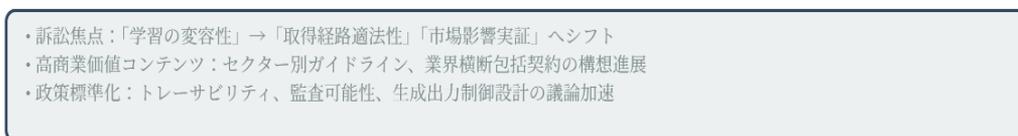
実務への示唆と対策



賠償リスクの規模感



今後の展望



概要

米 Anthropic と作家グループの著作権訴訟は、2025年8月末に和解案で合意し、生成AIの学習（トレーニング）と著作権の関係をめぐる米国の大型訴訟で初の和解事例となった⁸⁷。本件の背景には、同年6月の米連邦地裁（サンフランシスコ）での重要な中間判断がある。判事は「合法的に購入した書籍を用いたAI学習」はフェアユース（公正利用）に該当するとしつつ、海賊版サイトからダウンロードし集中保管した数百万冊の書籍については著作権侵害の可能性を認定し、損害賠償審理に進む構図を明確化していた^{47 89}。この「二分法的」判断により、フェアユースがAI学習に一定の

道を開く一方で、取得経路・保管方法の違法性が巨額の法的リスクをもたらすことが浮き彫りとなり、最終的に Anthropic は大規模な賠償リスクを回避する形で和解に応じたとみられる [47 46](#)。

同時期には Meta に対する別訴でも、原告が市場悪影響の証拠提出に失敗したため、学習利用がフェアユースと認定され被告勝訴となっており、米国の裁判所が AI 学習の性質（変容性・市場代替性）と証拠に基づく市場影響評価を重視している潮流が明確化している [28 31 29](#)。本レポートは和解の意義、判示の射程、今後の訴訟・コンプライアンス・政策への含意を、多角的に深掘りする。



詳細レポート

- 事件の骨子と手続的経緯
 - 2024 年 8 月、作家 3 人が Anthropic を提訴し、書籍の無断学習が著作権侵害に当たると主張した [87](#)。
 - 2025 年 6 月の略式判断で、裁判所は「合法購入書籍に基づく学習」はフェアユースだが、「影のライブラリ（LibGen など）からの大量ダウンロードの集中保管」は侵害の可能性があるとし、後者については損害賠償審理へ進む方針を示した [47 89](#)。
 - 2025 年 8 月 26 日、当事者は和解に合意し、手続停止と和解案詳細の後日提出が告知された [49 87](#)。
- 和解の初の「大型」事例としての意味

- 生成 AI 学習と著作権を巡る米国の大型訴訟群で、初の和解と位置付けられることで、今後の訴訟戦略とライセンス交渉の基準点になる可能性が高い [87 46](#)。
- 和解条項は非公開だが、裁判所が「海賊版由来データの集中保管」に侵害性を認定していた点から、保管・取得経路の是正、将来のソース管理、補償スキームの整備などが含まれる可能性がある [47 89](#)。
- 核となる法理：フェアユースと AI 学習
 - 米著作権法 107 条のフェアユースは、批評・研究・教育などの目的を例示し、4 要素（目的・性質、作品の性質、量と質、市場影響）で個別具体的に判断される柔軟な抗弁である [4 6 2](#)。
 - 裁判所は AI 学習を「変容的 (transformative)」と評価し得るが、最終判断では市場影響（とりわけ「市場の希釈化」や代替性）を最重視する姿勢を明確化している [29 28](#)。
- Anthropic 事件の中核判断（要点）
 - 学習対象の出所で明暗
 - 合法購入書籍をスキャンし学習に用いる行為は「極めて変容的」でフェアユースに該当し得るとされた [49 42](#)。
 - 一方、影のライブラリ等からの数百万冊規模のダウンロードを「中央ライブラリ」に保存した行為は、学習目的と乖離し得る侵害として審理対象となった [47 89](#)。
 - 損害賠償リスクの規模感
 - 米法の法定損害賠償は故意侵害で 1 作品あたり最大 150,000 ドルであり、対象が数百万～数千万点に及ぶ場合、理論上の賠償総額は桁違いの規模に達し得る [47](#)。
 - 例示計算として、もし対象 N 件に対し上限で推計すると、 $\text{Potential Damages} = N \times 150000$ となり、仮に 700 万点なら理論上は 1 兆ドル級に達し得るスケール感となる [47](#)。
- Meta 事件の同時期判断との相互補強
 - 2025 年 6 月、Meta は著者らの訴えに対し、市場悪影響の立証不足を理由に勝訴し、学習利用はフェアユースと判断されたが、裁判所は「多くの状況で無断学習は違法となり得る」とも付言し、事案依存性を強調した [31 28](#)。
 - すなわち、証拠に裏打ちされた「市場代替性・希釈化」の立証が鍵であり、AI 企業側の勝訴は無限定の免罪符ではないというメッセージが示された [29 31](#)。
- 時系列とファクトの整理

年月	主要出来事	法的含意
2024 年 8 月	作家 3 人が Anthropic 提訴	学習データの出所と保管態様が争点に 87

年月	主要出来事	法的含意
2025年6月	サンフランシスコ地裁：購入書籍の学習はフェアユース、影のライブラリ集中保管は侵害の可能性	フェアユースと取得経路の違法性を切り分け 47 89
2025年6月	Meta 事件で被告勝訴（市場悪影響の立証不足）	市場影響立証の重要性を再確認 31 28
2025年8月26日	Anthropic と作家側が和解案に合意	大型訴訟で初の和解、実務に影響大 87 49

- 画像でみる争点の可視化



- 今回の和解が示す実務的示唆
 - データ取得ガバナンス
 - 合法取得・適法ライセンスの原則徹底、社内での出所管理（ソース・オブ・トゥールズ）と監査ログ、モデル訓練前のクリーンルーム的プロセスの整備が必須となる [47 89](#)。
 - ストレージと用途の峻別
 - 学習用一時複製と、用途不特定の「中央保管」を区別し、後者のリスク（侵害認定蓋然性）を極小化するアーキテクチャ設計が求められる [47 89](#)。
 - 市場影響リスク評価
 - 目的外利用や生成物の代替性が疑われる領域では、モデル設計・生成防止策・フィルタリングで市場希釈化の懸念を抑制し、訴訟時に反証可能なエビデンスを蓄積することが重要である [29 28](#)。
 - リスクベースのライセンシング
 - 難許諾領域や「市場代替性が強い」コンテンツには、適切なボリュームベース／用途限定のライセンスを検討し、訴訟リスクとコストの総合最適化を図るべきである [46 49](#)。
- 米国内のフェアユース位置づけと日本法への波及可能性
 - 米国ではフェアユースが柔軟な一般条項として判例法理とともに運用され、研究・批評・教育等の目的における非営利・変容性の高い利用は肯定的評価を受けやすいが、量的・質的多用や市場代替性が強い利用には厳格に作用する [46 2](#)。
 - 日本はフェアユース一般条項を採用せず、権利制限規定は個別列挙主義であるため、米国の枠組みをそのまま適用・準拠することはできないが、データ取得の適法性や市場影響に関する配慮は国際的標準として企業実務に求められつつある [15 9](#)。
- 今後の訴訟・規制動向の展望
 - 訴訟の焦点は「学習の変容性」から「取得経路の適法性」と「市場影響の実証」へとシフトし、証拠主義・実証主義が決着を左右する局面が増えると見込まれる [29 47](#)。
 - 音楽や映画など高商業価値コンテンツでは、学習利用の適法性よりも「ライブラリ化」や「生成物の近接性」を巡る紛争が先鋭化し、セクター別のガイドラインや業界横断の包括契約の構想が進む可能性がある [46 49](#)。
 - 政策的には、入手経路のトレーサビリティ、学習ログの監査可能性、生成出力の再現性・漏洩防止設計（コンテンツモデレーション、RAGの引用明示等）に関する標準化が、当事者の予見可能性を高める手段として議論されるだろう [46 49](#)。
- 実務者へのアクション・チェックリスト
 - 取得経路

- 影のライブラリ、P2P等の非正規源は厳禁、クローリングの robots・ToS 順守、第三者データブローカーのデューデリジェンスを実施 [47 89](#)。
- 保管設計
 - 学習直結の一時的加工・キャッシュに限定し、恒常的な「中央ライブラリ」保管を避け、用途紐づけで最小限化する [47 89](#)。
- エビデンス化
 - 学習セット構成・フィルタリング基準・除外処理のログ化、出力類似度監視、著作物の再現・漏洩検知体制の整備 [29 28](#)。
- マーケット影響
 - 高代替性ジャンル（要約・続編風・歌詞・詩等）では生成制御と利用規約で用途制限、ライセンス導入の費用対効果を評価 [46 49](#)。
- ガバナンス
 - 法務・エンジニア・プロダクトのクロスファンクショナルな「AI データ審査委員会」を設置し、継続監査・改善を行う [46 49](#)。

要約

Anthropic と作家らの和解は、AI 学習と著作権の米大型訴訟で初の和解であり、法的・実務的に大きな転換点である [87](#)。サンフランシスコ地裁は、合法購入書籍の学習をフェアユースと認めつつ、海賊版由来の集中保管には侵害の可能性を認定する「二分法」を示し、フェアユースが万能ではないこと、取得経路と保管態様が決定的に重要であることを明確化した [47 89](#)。同時期の Meta 勝訴は、市場悪影響立証の欠如が被告に有利に働き得ることを示し、今後は市場代替性・希釈化の実証が訴訟の勝敗を左右することが再確認された [31 28 29](#)。

企業実務にとっては、非正規源の遮断、用途限定のデータ保管設計、学習・生成プロセスのエビデンス化、代替性の高い領域での生成制御やライセンス戦略が、訴訟回避と和解コスト最小化の中核になる [47 46](#)。日本はフェアユース一般条項を持たないが、国際標準としてのデータ取得ガバナンスと市場影響配慮は不可欠である [1 5 9](#)。和解の詳細は未公表ながら、本件は今後の交渉・標準化・規制設計に強い示唆を与える「実務のロードマップ」である。

1. [フェアユースとは？米国における法理や日本 ... - 契約ウォッチ](#)
2. [Fair Use - Copyright Information](#)
3. [フェアユース - Wikipedia](#)
4. [U.S. Copyright Office Fair Use Index](#)
5. [フェアユースとは簡単にいうとどういうこと？ 日本でも適用 ...](#)
6. [What Is Fair Use - Copyright Alliance](#)

7. [『アメリカ連邦著作権法における"Fair use"（フェアユース）の ...](#)
8. [Fair Use（FAQ）－ U.S. Copyright Office](#)
9. [フェアユースを待つだけでなく自分たちに出来ることを](#)
10. [Fair Use Policy – International Communication Association](#)
11. [Xのフェアユースポリシー | Xヘルプ](#)
12. [What is "fair use", and how does it apply to copyright law?](#)
13. [「アメリカ著作権局はフェアユースについて図書館利用者に ...](#)
14. [Fair use – Wikipedia](#)
15. [「フェアユース」とは – Legal ヘルプ](#)
16. [Copyright & Fair Use – Research Guides](#)
17. [著作物のフェアユースまたは公正使用に関する動向 Fair Use of ...](#)
18. [Measuring Fair Use: The Four Factors – Copyright Overview by ...](#)
19. [著作権法上の侵害責任が免除される公正利用（フェアユース）の ...](#)
20. [Fair Use and Other Educational Uses – UChicago Library](#)
21. [A I 学習で書籍利用、米メタも勝訴 米新興企業に続き](#)
22. [Meta Wins Blockbuster AI Copyright Case—but There's a Catch](#)
23. [米地裁、書籍で AI 学習は「合法」 公正利用と認める](#)
24. [A I 無断学習訴訟で和解 米アンソロピックと作家ら](#)
25. [Meta's AI Copyright Victory: What It Means for the Future of AI ...](#)
26. [時事ドットコム（時事通信ニュース） on X: "AI 学習で書籍利用 ...](#)
27. [A I 学習で書籍無断利用、メタも勝訴 新興A Iに続き 米地裁](#)
28. [Meta wins AI copyright lawsuit as US judge rules against authors](#)
29. [メタ、AI 著作権訴訟で勝訴 フェアユース該当も限定的](#)
30. [AG on Meta AI Ruling: Meta Gets a Technical Win, but the Law ...](#)
31. [A I 巡る著作権訴訟で米メタ勝訴、地裁「原告らが間違った ...](#)
32. [Meta's AI Training on Books Deemed 'Fair Use' by Federal ...](#)
33. [AI 開発に書籍の無断利用は「公正利用」 米メタも著作権訴訟で ...](#)
34. [Meta wins narrow fair use battle on behalf of AI developers ...](#)
35. [A I 学習で書籍利用、米メタも勝訴＝米新興企業に続き－著作 ...](#)
36. [Meta, Anthropic win legal battles over AI 'training.' The ...](#)
37. [AI 学習の著作権侵害、米作家と企業が和解 海賊版利用の賠償 ...](#)
38. [Meta scores AI copyright win – POLITICO Pro](#)

39. [Claude 開発元、AI 学習用データ盗用めぐり作家との集団訴訟 ...](#)
40. [Meta Won Its AI Fair Use Lawsuit, but Judge Says ... — CNET](#)
41. [メタ、AI 訓練巡る著作権訴訟で勝訴も判決は「限定的」](#)
42. [What the New Anthropic and Meta Rulings Actually Reveal ...](#)
43. [Anthropic settles class action from US authors ... — Reuters](#)
44. [AI 無断学習訴訟で和解 米アンソロピックと作家ら](#)
45. [Amazon-Backed Anthropic Settles AI Lawsuit From Authors](#)
46. [アングル：AI 学習巡る著作権訴訟、アンソロピックの和解が ...](#)
47. [Anthropic Settles High-Profile AI Copyright Lawsuit ... — WIRED](#)
48. [生成AI 学習に著書を無断使用された米作家3人](#)
49. [AI company Anthropic settles with authors who alleged piracy](#)
50. [AI 無断学習訴訟で和解＝米アンソロピックと作家ら（時事通信）](#)
51. [Book authors settle copyright lawsuit with AI company Anthropic](#)
52. [AI 無断学習訴訟で和解＝米アンソロピックと作家ら](#)
53. [Anthropic settles AI book-training lawsuit with authors](#)
54. [米企業、作家と和解 AI 学習に海賊版利用 — 朝日新聞](#)
55. [Anthropic Settles Lawsuit With Authors Over Use of Pirated ...](#)
56. [「AI が著作権侵害」和解...米訴訟 企業側と作家3人：読売新聞](#)
57. [Book authors settle copyright lawsuit with AI company Anthropic](#)
58. [米国の AI 著作権巨額訴訟で初の和解 アンソロピック](#)
59. [Anthropic settles high-profile class action lawsuit alleging ...](#)
60. [AI 無断学習訴訟で和解＝米アンソロピックと作家ら（時事通信）](#)
61. [Book Authors Settle Copyright Lawsuit With AI Company ...](#)
62. [AI 学習の著作権侵害、米作家と企業が和解 海賊版利用の賠償 ...](#)
63. [AI 無断学習訴訟で和解 米アンソロピックと作家ら（時事通信）](#)
64. [控えめにいって大騒動な米国 AI 著作権法論議の記録帳 福井健策](#)
65. [＜AI Update＞ AI の学習データ利用について著作権侵害を認め ...](#)
66. [AI 無断学習訴訟で和解 米アンソロピックと作家ら](#)
67. [AI 著作権訴訟でメタとアンソロピックが初勝利、今後の展開は？](#)
68. [フェアユースの最前線: AI と機械学習の時代の著作権法](#)
69. [アングル：AI 学習巡る著作権訴訟、アンソロピックの和解が ...](#)
70. [\[ニュース解説\] Anthropic 社の著作権訴訟、「変容的利用 ...](#)

71. [アメリカ著作権法における「フェアユース」とは？判断基準や ...](#)
72. [生成A I 学習に著書が無断使用された米作家3人](#)
73. [米新興アンソロピックが合法的に購入した書籍で生成AI（人工 ... - X](#)
74. [生成AIの学習と著作権：「市場の希釈化」がフェアユースを ...](#)
75. [AI 学習の著作権侵害、米作家と企業が和解 海賊版利用の賠償 ...](#)
76. [AI の学習は「パクリ」なのか？著作権の判例は？ | ブログ](#)
77. [メタ、AI 著作権訴訟で勝訴 フェアユース該当も限定的](#)
78. [A I 無断学習訴訟で和解＝米アンソロピックと作家ら](#)
79. [AI 学習に書籍を無断利用、著作権侵害認めず 米連邦地裁が合法 ...](#)
80. [大規模言語モデルの Anthropic、著者団体との訴訟で米連邦 ...](#)
81. [米国の AI 著作権巨額訴訟で初の和解 アンソロピック](#)
82. [「AI 学習に海賊版使えず 米判決、テックが払う代償」を解説](#)
83. [生成AIによる著作権の侵害事例と最新の判例](#)
84. [AI 無断学習訴訟で和解＝米アンソロピックと作家ら（時事通信）](#)
85. [米新興A I 企業アンソロピックと和解...著作権侵害訴訟 - MSN](#)
86. [Anthropic × 作家集団訴訟和解 - 著作権侵害・AI 開発・音楽 ...](#)
87. [A I 無断学習訴訟で和解 米アンソロピックと作家ら：時事ドットコム](#)
88. [生成A I 学習に著書が無断使用された米作家3人、米新興A I 企業アンソロピックと和解...著作権侵害訴訟：読売新聞](#)
89. [アングル：A I 学習巡る著作権訴訟、アンソロピックの和解が波紋 | ロイター](#)
90. [アングル：A I 学習巡る著作権訴訟、アンソロピックの和解が ...](#)
91. [三大AIのアンソロピック 歌詞をファイル共有したと大手音楽 ...](#)
92. [A I の歌詞学習差し止めず 米ユニバーサルの訴え退ける](#)
93. [AI 訓練の差し止め請求が却下 対 Anthropic 訴訟 - Musicman](#)
94. [A I の歌詞学習差し止めず＝米ユニバーサルの訴え退ける](#)
95. [A I 学習巡る著作権訴訟、アンソロピックの和解が波紋 ...](#)
96. [AI 時代を揺るがす著作権戦争 アンソロピック訴訟と“国立AI ...](#)
97. [米有力音楽出版社が AI スタートアップに対し著作権侵害訴訟を ...](#)
98. [ミュージックパブリッシャーは、著作権で保護された歌詞の ...](#)
99. [AI 企業の著作権に関する訴訟、ハリウッドのクリエイターに ...](#)